



チームワーク全開で 四国大会に出場しました!!

海南ホーンズ ミニバスケットボールクラブ
 亀井陽満 島崎 悠 多田陸大 西田和真
 西田陽成 乃一星南 平岡隼平 藤澤勇翔
 山岡大祐 由良快斗



海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
 編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **34** (2014.11)

おもな内容

台風被害	2P
決算認定	7P
一口メモ	11P
行政報告	12P
一般質問	13P
委員長報告	17P

海陽町を直撃!

町内に甚大な被害



③水田に氾濫した若松川



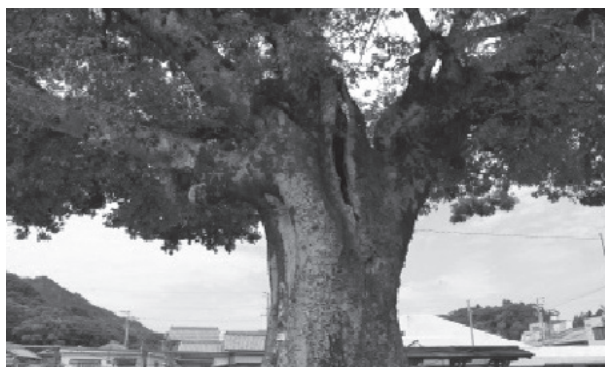
④崩壊し今も通行止めの町道浅川大山線



⑤冠水した役場海南庁舎前国道 193 号



⑥瓦が吹き飛んだ義仁荘



⑦亀裂が入り危険な状態の海部小のシンボル ヨノミノ木



⑧浸水した高園地区



⑨冠水した県道 301 号尖喰尾崎



⑩破損した野江町民体育館

台風12・11号

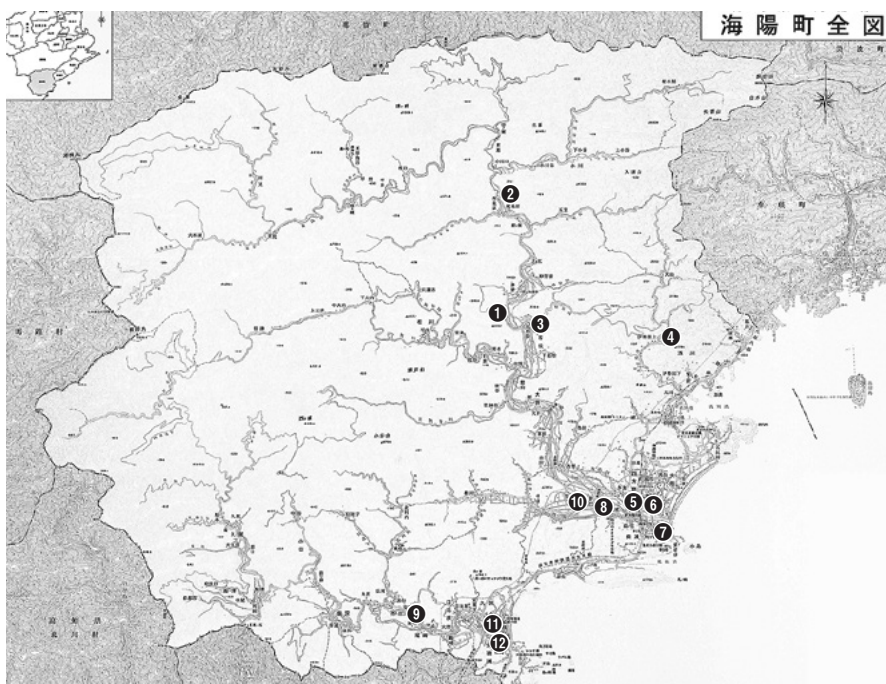
主な災害被災箇所



①ガケ崩れにより通行止め国道193号神野



②耕作被害 桑原



平成26年8月の台風11号・12号の影響による激しい雨のため、海陽町では冠水や土砂災害が発生し、町内各所に被害をもたらしました。特に12号は、雷を伴った激しい雨が断続的に降り、8月1日12時から6日24時までの総雨量は、海陽町で664mmを観測しました。



⑪浸水した宍喰小学校



⑫国によるカモメ橋被災状況視察

9月補正での災害復旧事業

- カーブミラー修理
- 災害時消毒業務●災害ゴミ収集・処分業務●災害時し尿汲取費補助事業
- 竹ヶ島漁港水銀灯修繕
- 穴喰浦南排水機場修繕●急傾斜地崩壊応急対策工事補助●遊歩道支障木伐採業務●町営住宅修繕事業
- 屯所・消防車修理●津波避難路修繕、倒木による避難路手摺、照明灯修繕
- 海南庁舎 屋上・東側外部階段修繕●阿佐東線鉄道災害復旧事業補助金●ONU修繕費(光回線終端装置)
- 生活再建特別支援補助金●小規模災害見舞金
- さつき荘 エアコン取替、雨漏り修繕●中川原公会堂 給排水管修理
- 飲料水供給施設改修工事助成金●災害ゴミ処分業務(リサイクル料)
- 遊遊NASA…看板修繕 正面玄関雨樋、三階煙突屋根、厨房裏口水槽小屋●蛇王運動公園…球場内野観客席屋根破損、球場北面ネット破損、屋内投球練習場屋根破損
- 穴喰小学校…校舎1階、体育館、給食配膳室、多目的棟、床上浸水(31cm～44cm)●海部小学校…玄関及び南川入り口ガラス戸損壊、プールフェンス損壊●海南小学校…津波避難階段侵入口損壊、倒木
- 海陽中学校…挨拶看板損壊●穴喰中学校…管理棟校舎屋上防水シート破損、体育館雨漏り●海部給食センター…屋根一部破損●旧海部中学校校舎…窓枠サッシ、ガラス窓等損壊●奥浦町民体育館…屋根鋼板一部破損●野江町民体育館…屋根鋼板一部破損、雨漏りひどく館内水たまり状態
- 野江グラウンド…フェンス、防球ネット破損●文化村 博物館…屋根一部破損、工芸館軒板破損、倒木(さくら等3本)●郷土会館義仁荘…屋根瓦破損●文化財指定地…ハッチョウトンボ指定地に土砂流入、倒木など数カ所
- 町道・河川施設災害…浅川大山線道路災害復旧工事他 13カ所
- 小規模災害(町道・河川・排水路等)…倒木・土砂撤去、路面整正 70カ所
- 林道・農道及びの農地災害…倒木・土砂撤去、路面整正 林道大木屋小石川線他 121カ所
- 住宅裏山崩壊…土砂撤去等応急対策 10カ所

5億8900万円補正

被災ゴミ収集処分費用、消毒等費用、公共施設等の災害関連復旧費として、5億8900万円を9月定例議会で可決しました。

(平成26年9月現在)

単位：戸

	床上浸水	半壊	床下浸水
海南地区	11		106
海部地区	50		50
穴喰地区	43	1	115
合計	104	1	271

(平成26年9月末現在 住居のみ)



神野の被害状況巡視

台風 11 号・12 号豪雨災害により、被害を受けられた皆様へ、県ならびに町より以下の支援制度があります。



増水した吉野長泉寺川



崩壊した町道 神祇線



回収した災害ゴミ

○海陽町生活再建助成制度

対 象：居住する住宅が全壊、半壊または床上浸水した世帯
内 容：住宅の補修費及び生活必需品の購入費
補 助 率：県 1/2 町 1/2（自己負担なし、限度額あり）
申込期間：罹災証明書に記載された被災日から 13 ヶ月以内
問合せ先：保健福祉課 73-4313

○海陽町災害見舞金等支給条例

対 象：居住する住宅が全壊、半壊または床上浸水した世帯
見 舞 金：半壊 25000 円（居住者一人につき 5000 円加算）
床上浸水 15000 円
申込期間：罹災証明書に記載された被災日から 13 ヶ月以内
問合せ先：保健福祉課 73-4313

○生活福祉資金（災害特例貸付）

対 象：低所得者世帯等（審査が必要）
内 容：必要な生活資金等
補 助 率：低利又は無利子で貸付
申込期間：平成 26 年 8 月 13 日～平成 27 年 2 月 12 日まで
（6 ヶ月間）
問合せ先：海陽町社会福祉協議会 73-1980

※農林水産業関係の支援事業「農林水産業債権特別支援制度」及び「被災農業者向け経営体育成支援事業」は平成 26 年 10 月 20 日（月）で締切ました。また、企業向けの支援制度「緊急災害対策資金利子補給補助金」は町内に事業所を有し、平成 26 年 10 月 31 日までに緊急災害対策資金の融資を受けた事業所に限ります。

災害ゴミ処分へ！
災害時家電リサイクル料と
運搬手数料 11.5万円

台 風 11 号 12 号により、町が回収した災害ゴミのうち、家電リサイクル法で定められているエアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の 4 品目についての家電リサイクル料、運搬手数料。冷蔵庫 70 台、洗濯機 50 台、テレビ 80 台。

災害時家電リサイクル料
災害時家電リサイクル運搬手数料

計 11.5 万円
42 万円
73 万円

大雨に備え

「土のう」準備へ

海南文化村に水防倉庫新設

750万円

これまで海南地区に土のう・備品等の保管場所がありませんでした。災害時の迅速な対応を目指し設置します。3月末完成予定です。



海南文化村

のびのび使えるグラウンドに！

海陽中学校グラウンド

防球ネット設置

650万円

サッカー部の練習時に、ボールが隣接する町道へ飛び出し、通行する車両に接触する事故がたびたび発生しています。その防止策として防球ネット（幅40m、高さ10m）を設置します。



海陽中学校グラウンド

防災情報などを各家庭へ

光回線終端装置(ONU)修繕費 378万円

の装置は、それぞれの家庭に引き込まれた光ファイバー（通信線）で送られる情報をテレビ、防災無線の告知端末、町内無料電話、インターネットなどに分ける機能を持っています。装置は、海陽町が各家庭へ貸与しています。今回は、落雷や風水害で故障が多数発生したため、修理いたします。



各戸に設置された ONU

肺炎による死亡(3位)を防ぐため

高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成金 56万円

予防接種委託料 117万円

○予防接種費 対象者 自己負担額 4000円

※生活保護世帯の方 … 自己負担なし(窓口負担なし)

※住民税非課税世帯の方… 病院窓口で自己負担していただき、申請により

あとで助成されます。

○対象者(個別に通知が届きます)

- ・65歳になる方(経過措置として今年度から5年間、当該年度に65歳・70歳・75歳・80歳・85歳・90歳・95歳・100歳になる方)の内、接種を希望される方
- ※今年度に限り100歳以上の方も対象になります。
- ※過去に当予防接種を受けたことがある方は対象になりません。

- ・心臓、腎臓、呼吸器に障害のある60歳から65歳未満の方

※10月からスタートしました。問い合わせ先 保健福祉課73-4313

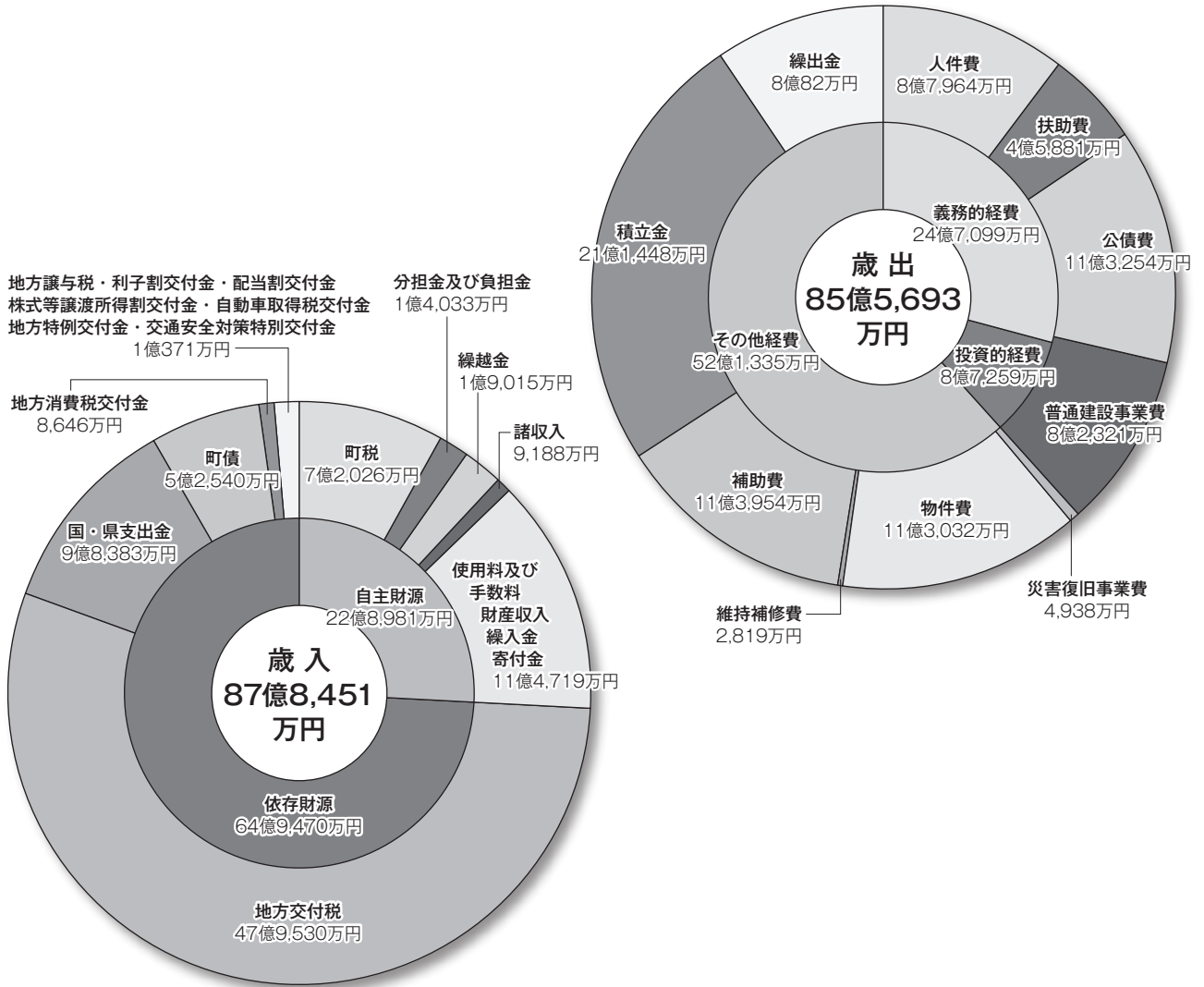


平成25年度

決算認定 さらに効率的な 財政運営へ

平成25年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

平成25年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳



当年度の歳出総額は、85億5693万円の前年度と比較して1509万円の増額となっているが、主な要因は土木費の社会資本整備総合交付金事業や教育費の海南小学校・海陽中学校外部避難階段設置事業によるものである。

減少科目では、前年度に計上した基金の積立による総務費の減少が大きく、消防費では津波・防災対策事業、農林水産業費では水産業支援事業のそれぞれの完了によるものである。

義務的経費については、人件費の減少により前年度比1億1446万円の縮減が図られている。また、新規発行地方債の抑制、起債の繰上償還により、起債残高の縮減が図られ、確保した財源を財政調整基金などへ積立を行い、基金残高は回復している。

特別会計（企業会計を除く）の歳入総額は39億6184万円、歳出総額は38億5836万円、差引1億347万円が特別会計は全て赤字となっているが、一般会計からの繰出金の総額は6億1615万円となっており、依然として一般会計への大きな負担となっている。

実質公債費比率は4.8%に

主な財政指標

(単位：万円)

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
地方債現在高 (借金残高)	86億2,469	75億5,859	71億4,421	66億2,147
積立金残高 (貯金残高)	34億873	40億4,120	55億4,130	65億5,812
経常収支比率 (町のエンゲル係数)	75.40%	73.4%	72.4%	72.0%
財政力指数	0.18%	0.18%	0.18%	0.18%
実質公債費比率 (借金返済費の割合)	12.80%	9.1%	6.2%	4.8%

経常収支比率は県内で
最も低い72.0%

※エンゲル係数…家計の消費支出に占める飲食費のパーセント。
エンゲル係数の値が高いほど生活水準は低いとされる。

一般会計・特別会計

(単位：万円)

歳入 87億8451万円
歳出 85億5693万円
差引残額 2億2758万円

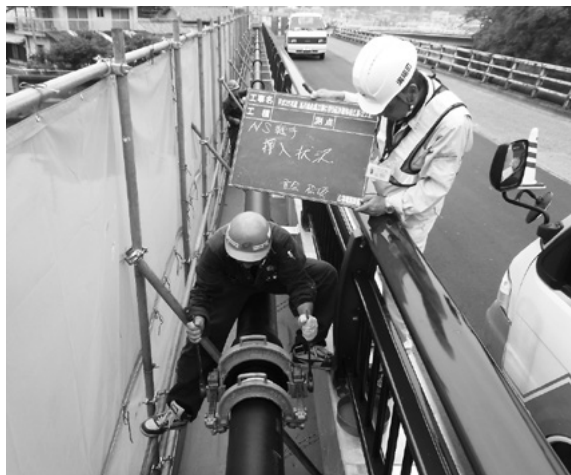
会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	87億8,451	85億5,693	2億2,758
国民健康保険特別会計	15億64	14億8,817	1,247
後期高齢者医療特別会計	1億6,379	1億6,033	346
介護保険特別会計	14億3,290	14億2,468	822
浅川公共下水道事業特別会計	6,231	6,049	182
海部公共下水道事業特別会計	1億7,478	1億6,761	717
穴喰公共下水道事業特別会計	1億5,610	1億4,920	690
神野農業集落排水事業特別会計	934	917	17
川西農業集落排水事業特別会計	2,021	1,986	35
日比原農業集落排水事業特別会計	982	954	28
漁業集落排水事業特別会計	1,595	1,461	134
川西簡易水道事業特別会計	2,524	540	1,984
海部簡易水道事業特別会計	9,377	9,209	168
中里簡易水道事業特別会計	488	217	271
川上簡易水道事業特別会計	2,164	680	1,484
鉄道経営安定基金特別会計	4億9,851	4億9,851	0
穴喰診療所事業会計	1億7,196	1億4,973	2,223

決算

認定

平成25年度上水道事業会計

事業収入	1億3,010万円 (-297万円 対前年度)
事業費用	1億293万円 (+6万円 対前年度)
25年度純利益	2,717万円



水道工事

当 月度現在、月平均給水件数は4149件、月平均給水量は8万3440m³となっている。当年度の純利益は2717万円と黒字であり、自己資本構成比率は全国平均の66・74%を上回り71・92%と安定的に運営されている。

防災面から見ると、最新の南海トラフ巨大地震による津波浸水予測図を基に、災害時にも安定的な給水が確保できるよう、より一層の地震・津波対策を計画的に講じていくことが必要である。

事業は安定に推移
計画的により一層の災害対策を

平成25年度海南病院事業会計

事業収入	5億818万円 (-5,267万円 対前年度)
事業費用	5億5,600万円 (-3,804万円 対前年度)
25年度純損失	4,782万円

決 算の結果4782万円の赤字、累積では3億2358万円の赤字となっている。要因は、入院・外来患者数の減少で、特に医療収入に占める職員給与比率が今年度は126・6%と危機的数値となっている。

救急指定病院としての救急車による患者受け入れ実績は、25年度37件であり、平成20年度の132件から減少傾向にある。

民間病院の経営感覚を取り入れ、地域住民のニーズに的確にこたえるべきであり、地域の包括医療の拠点としての役割を十分に果たすよう外来入院患者の安定確保、経費削減等幅広い取り組みなど、未来を見据えた見直しが必要である。



地域住民のニーズに的確にこたえ
未来を見据えた見直しを!!

第3回定例会

議案の審議

平成26年第3回定例会は、9月8日開会、町長より次の20議案、議員発議1件が提出され審議の結果、原案どおり可決され、12日閉会した。

承認関係

専決処分の承認
平成26年度一般会計補正予算（第3号）

1億541万円↑
豪雨強風災害復旧費等

注釈 ↑ 増額
↓ 減額

条例関係

- ・家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
- ・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- ・小規模災害見舞金等支給条例の一部を改正する条例
- ・重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- ・町営住宅管理条例の一部を改正する条例

予算関係

- ・決算の認定について
平成26年度一般会計補正予算（第4号）
7億1312万円↑
- ・平成26年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
3032万円↑
- ・平成26年度介護保険特別会計補正予算（第2号）
652万円↑
- ・平成26年度海部公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
607万円↑
- ・平成26年度宍喰公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
10万円↑

・平成26年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
100万円↑

・平成26年度海部簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
10万円↑

・平成26年度川上簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
110万円↑

・平成26年度上水道事業会計補正予算（第1号）
10万円↑

人事関係

・人権擁護委員候補者の推薦について

住所
海陽町四方原



谷崎 淑文 氏
たにざき よしふみ

契約関係

- ・平成26年度宍喰町民センター耐震改修工事請負契約
契約金額 1億6524万円
契約の相手方 (株)吉岡組
- ・平成25年度浅川橋上部補強工事変更請負契約
契約金額 既決請負契約額 7754万円
増額請負契約額 773万円
計 8527万円
契約の相手方 ショーボンド(株)
- ・軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び防災認定基準の改正などを要請する意見書(案)

議員発議

第4回臨時会

議案の審議

平成26年第4回臨時会は、8月12日開会、町長より次の議案が提出され審議の結果、原案のとおり可決され、同日閉会した。

承認関係

宍喰観光物産センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
平成26年度一般会計補正予算（第2号）

250万円↑

第5回臨時会

議案の審議

平成26年第5回臨時会は、10月7日開会、町長より次の議案が提出され審議の結果、原案のとおり可決され、同日閉会した。

・平成26年度町道海南柿谷線神野橋・道路改良工事請負契約について
契約金額 1億1448万円
契約相手方 (株)谷田組

代表取締役 谷田勝良

・平成26年度小型動力ポンプ付積載車両購入契約について
契約金額 1269万円
契約相手方 徳島防災(株)

代表取締役 鶴田勝重

・平成26年度一般会計補正予算（第5号）
議決のあった日から平成27年3月25日まで
5299万円↑

9月補正予算後の 歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億4,102万6千円	8.5
地方譲与税	0	6,200万円	0.8
利子割交付金	0	160万円	0.0
配当割交付金	0	340万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	250万円	0.0
地方消費税交付金	0	8,680万円	1.2
自動車取得税交付金	0	530万円	0.1
地方特例交付金	0	130万円	0.0
地方交付税	3億1,453万円	42億3,846万7千円	56.5
交通安全対策特別交付金	0	130万円	0.0
分担金・負担金	0	1億40万8千円	1.3
使用料・手数料	0	5,578万3千円	0.7
国庫支出金	1億4,472万2千円	5億9,029万9千円	7.9
県支出金	8,949万4千円	5億9,78万4千円	6.8
財産収入	0	4,867万4千円	0.7
寄附金	130万円	130万円	0.0
繰入金	989万4千円	7,756万8千円	1.0
繰越金	0	9,731万1千円	1.3
諸収入	6,188万3千円	1億5,474万3千円	2.1
町債	9,130万円	8億2,290万円	11.0
合計	7億1,312万3千円	75億2,46万3千円	100.0

歳出	9月補正	補正後	構成比率
議会費	260万7千円	7,802万9千円	1.0
総務費	2,064万4千円	8億2,777万8千円	11.0
民生費	1億943万円	18億3,505万4千円	24.5
衛生費	348万1千円	7億1,152万2千円	9.3
農林水産業費	1,865万5千円	4億1,339万5千円	5.5
商工費	1,492万4千円	1億3,207万4千円	1.8
土木費	504万円	6億9,604万9千円	9.3
消防費	907万4千円	4億4,839万4千円	6.0
教育費	1,285万1千円	7億8,184万2千円	10.4
災害復旧費	3億6,442万8千円	4億4,184万円	5.9
公債費	1億5,198万9千円	11億2,953万2千円	15.0
諸支出金	0	444万5千円	0.1
予備費	0	1,287万9千円	0.2
合計	7億1,312万3千円	75億2,46万3千円	100.0

政治家の寄附や時候のあいさつ状について

Q 政治家の寄附や年賀状等の時候のあいさつ状は？

A 政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

有権者が寄附を求めることも禁止されています。また、年賀状や暑中見舞状等のあいさつ状（答礼のため自筆によるものを除く）も禁止されています。

政務活動費について

Q 今ニュース等で報道されている政務活動費について、海陽町議会はどうなっていますか？

A 海陽町議会では政務活動費は支給されていません。

陳情書

軽度外傷性脳損傷に
関わる周知及び労災
認定基準の改正など
を要請する陳情書

審議の結果採択となりました。

議会のページ

7月1日から9月30日まで

7月

- 14日 議会広報編集特別委員会
- 22日 議会広報編集特別委員会
- 31日 徳島県町村議会女性議員連盟設立総会（徳島市）

8月

- 1日 県議長会定例会（徳島市）
- 6日 議会運営委員会
- 6日 議会全員協議会
- 12日 第4回臨時会
- 26日 議会広報研修会（徳島市）

9月

- 1日 議会運営委員会
- 1日 議会全員協議会
- 8日 第3回定例会（1日目）
- 8日 議会運営委員会
- 8日・9日 総務産業建設常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 12日 第3回定例会（2日目）
- 25日 議会広報編集特別委員会

海陽町みらい会議とサテライトオフィス

田園回帰に向けて

町長 前田 恵



敬老のつどい（平成26年9月15日 海南文化館）

台風12号・11号によって被害に遭われた方々に改めて心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い被害からの物質的・心理的な復旧をお祈りします。

阿南安芸自動車道について、町としてあらゆる機会を捉え、要請行動しているし、これからも県や関係市町村と連携の上、最優先課題として取り組んでいきたい。

海陽町みらい会議について、議会よりいただいた意見や指摘について検

討を重ね、見直しや既存の組織との整合性、関係性を整理し、来年4月スタートに向けたたい。

組をしていきたい。

た支援策として、地域農林水産業再建特別支援事業を予定しているが、この制度に国の補助金の上乗せを期待している。

海南病院の経営は一番深刻で大きな問題である。体裁を見繕っている余裕などないし、気を使っている余裕はない。病院形態の見直し等、様々な方法を探っている中の一つとして、包括ケア病棟への移行などを検討課題としている。また、海部病院と連携した地域医療を考える町立公立医療機関と、海部病院連絡協議会の設置に向けて取り組みを始めたところである。どちらにしても覚悟を持って、できるだけ早く新たな取り組み、展開を考えていく時期である。

サテライトオフィス補助制度拡充に向けて、新聞等によると、人口減に歯止めをかけるため国・自治体が数値目標を盛り込んだ「まち・ひと・しごと創生法案」の全容が明らかになったと報道された。その中には地域の特性を活かしたベンチャーの促進など、地方の雇用機会の創出が明記されている。こういった国の流れの中、取り組みを進めているIT企業の誘致などは政策として間違っていないと確信しているし、今後も積極的に進めていきたい。

町営住宅の被害は、床上浸水21戸、床下浸水35戸。屋根、倉庫等の損傷が20カ所余りで、修繕予算額は約2000万円を予定している。

今回の集中豪雨により、最後まで復旧に時間を要したのが停電である。ライフラインの根幹である電源が喪失すると、多くの町民や企業の方々の生活基盤が奪われる。変電所を水没から守る取り組みを四国電力にお願いしていきたい。

第一次産業分野での積極的な取り組み策として

田園回帰・農村回帰に向けた移住やインターン、Uターンを中心とする事業を積極的に進め、人口の社会増に向けた取

突喰地区における保育所のあり方・統合について

説明会を実施したところ、保護者の方から厳しいご意見もたくさんいただいた。時間をかけ慎重に検討し、判断したい。

台風による農林水産業再建に向け



西村内閣府副大臣に被災状況説明（平成26年8月12日突喰小学校）

穴喰地区の浸水被害に対し 納得のいく説明を



小山 慎 議員

〈町長〉できるだけ早く説明する



増水した穴喰川

問 穴喰地区における浸水被害は、排水機場や樋門について様々な憶測が流れており、その管理体制が問われている。今後の対策を含め、浸水被害に対する検証と地域住民の方に対して、できるだけ早い時期に納得のいく説明をする必要があると考えるが、どうか。

答 前田町長
今回の台風12号では、排水機場のポンプの排水能力を大きく超えた状況

通行止めなどの 情報提供の対応が必要

〈建設課長〉

最善策を検討していく

となった。住民の皆様方のご不満や不信感等払拭していけるよう、できるだけ早く説明する。

問 穴喰川の河床は、土砂等の堆積により川の流量が不足している状況である。土砂の取り除きを県に強く要望していただきたいが、どうか。

答 東谷建設課長
穴喰川全域について、どこがよく溜まっていないかを調査し、県と協議した上で要望をしていく。

問 台風の影響により、町の数カ所道路が冠水し通行止めとなった。町はその箇所を把握していないし、情報を連絡・収集する職員や住民に対する情報発信など、現在の対応では不備があると思われる。今後は、住民の方に情報提供をする必要があると思いが、どうか。

答 建設課長
多くの道路が、冠水や山腹の崩壊等もあり、かなりの箇所通行止めとなった。その箇所の把握については住民の方から通報があったが、周知する手段ができていなかった。今後は最善策を検討していく。

問 国道55号の冠水による通行止めについては、大動脈である国道がこんな状況では防災以前の問題である。対策に向けて、国交省に対し強い要望をしていただきたいが、どうか。

答 町長
かさ上げをするか、河川の排水をよくするか、二つに一つである。国交省徳島河川国道事務所もよく認識している。積極的に国交省に取り組みを強めていく。

タイムラインで減災へ

〈町長〉防災会議等で
検討しなければいけない問題

問 大災害が起こりえることでも事前に対処することで、減災へと導くことができる。いつ・誰が・何をすべきかを時系列でルール化し、関係機関が共有することで、災害対応の漏れや遅れを防ぐことができる。それがタイムライン（事前行動計画）である。台風及びそれに起因する水災害や土砂災害に有効となるこのシ

ステムを地域防災計画に組み込む必要があると思いが、どうか。

答 谷岡防災課長
減災の面からも非常に有効なものであると認識しているが、国や県の今後の状況も見ながら検討していきたい。

答 町長
先進地の取り組みも聞いた上で、今後、防災会議等で検討していかなければいけない問題である。

問 大規模な災害の発生に備え、一人暮らしの高齢者や災害時に配慮が必要な方の情報など、把握しておく必要がある。避難時には必ずしも医療関係者がいるとは限らない。障がいの状況や症状等、必要最小限の情報を記入し、携帯型にした災害避難カードを全戸に配布してはどうか。

答 防災課長
どういう情報を記入するかは今後検討するが、まず、試験的にモデル地域を決めて進めていく。

一般質問



三浦 茂貴 議員

問 台風11号、12号の被害で今回最もひどかった浸水被害の原因と、今後の対応策について聞きたい。

答 東谷建設課長

本流が過去最大の水位であったことから、その支流部の河川が氾濫し、低地部において深刻な浸水となったと考えている。

今後の対策については、海部川水系では河川内堆積土砂の撤去と排水機場の対応能力の向上。実喰川水系では、中流域での河川改修と下流域での現有ポンプ施設の排水能力の向上が今後必要となる。また、旧海部中学校の駐車場入口に排水ポンプを設置するためのピットを設けて、今後の対策に活かしたい。

被災者全員に何らかの優しい政策を

〈町長〉

どこかで線引きをしなければならない

問 県の防災ヘリを飛ばしてもらい、その情報をすぐさま町に送ってもらえるような、情報共有システムを作れないか。また、吉野川、那賀川流域では国交省の可動排水ポンプ車が計10台配備されている。県の保有も3台あるので海陽町にも配備してもらえないか。海陽町が防災特区も

デルとなつて、県の所有する情報や機材をフル活用できるようなシステムを構築するべきであると思うがどうか。

答 前田町長

特区ができないものなのか、また、国交省の排水車が海陽町に常時置いてもらうことが可能なのか勉強したい。

問 今後の復興支援は床上浸水以上の被害が対象である。しかし、それ以外の世帯や店舗、倉庫なども含めれば、かなりの住民が被災した。そこで支援策として8月中の水道料金を半額にすればどうか。また、被災者全員に何らかの優しい政策を考えて欲しい。

答 町長

どこかで線引きをしなければならない。町の上水道を利用している家庭を減額すると、それ以外の地域との不公平感が生じてくる場合もある。

ふるさと納税を積極的にPRすべきでは？

〈町長〉

十分PRできている

問 毎年いくらのふるさと納税がされており、総額はいくらになっているのか。また、町外へふるさと納税した人の件数と総額も聞きたい。

答 浦川総務課長

年間約97万円。累計で581万2395円になる。また、町外へは住民税申告書より17名、約23万円だと推測している。

問 分かりやすいパンフレット等を配布し、積極的にPRをするべきであると思うがどうか。

答 町長

広報的には十分PRできているし、これからも随時できるだけ多く載せるよう指示しておく。

公園道の幅員を広げれば？

〈建設課長〉逆に事故を誘発する

問 ピクニック公園内に防災拠点であるまぜのおかに通じる道がある。五反田からの道は大雨で浸水して通れなくなるし、農免からの道は道幅が狭く、見通しが非常に悪い。抜本的な対策が必要であると思うがどうか。

答 建設課長

農免からの道は公園道で、自動車は徐行して歩行者の安全に配慮するような性格の道路となっている。五反田からの道は、中央にある橋から交差点までかさ上げできないか検討していきたい。

問 公園道の幅員を広げて二車線にし農免もかさ上げすれば、国道が浸水した時の迂回路になると思うが可能なのか。

答 建設課長

単純に道路幅員を広げることは、その線形から逆に事故を誘発することが考えられる。農免道路のかさ上げについては沿線の理解が必要となり、検討はするが、困難な問題が発生すると考える。



ピクニック公園進入路

10年後の町長の理想とする町のビジョンは



長尾 正大 議員

〈町長〉地域の活性化に積極的に取り組むことが理想

問 10年後の海陽町をどのような町にしたいのか、町長の理想とする町の将来像、ビジョンを聞きたい。

答 高齢化の問題。10年後、団塊の世代の高齢化により高齢化率が上がり、福祉サービスを受け取る人も多くなる。サービスする側の若者は減り、高齢者福祉は維持できないと考えられる。町長はどういう理想的なビジョンを持っているのか。

答 前田町長
本町の予想される2025年の人口は77,499人で高齢化率は48%、75歳以上の割合も30・8%と非常に高い。社協や関係機関と連携しながら介護サービス利用者が減少するよう努め、介護給付を抑えて介護保険への負担も抑制していきたい。

者の緊急時の受入や在宅への復帰支援等、地域包括ケアを支援する内容である。行政報告でもそのことを検討課題とし、海部病院との連絡協議会の設置に向けて取り組んでいるとのことだが、どのようなビジョンを描いているのか。

答 町長
町民のニーズも拝聴し地域包括医療等への一部転換、有床診療所への検討、地域枠の医師の受入など様々な検討を行う中で決断していきたい。副町長を先頭にし、病院看護師等関係者、元病院の勤務職員、役場課長などからなる職員組織の海南病院のあり方に関する検討委員会を立ち上げたい。検討委員会では、あらゆる選択肢を排除しない旨伝えているし、全てを選択肢に入れて検討し全てを開示していく。

問 教育関係に思い切った投資と改革が大切だとのことだが、教育環境、育児環境についての理想像は。

答 岡田教育長
大切なことは保護者、教員と指導する者の資質

を高めること。海陽町においても教員と教育に関わる者は、様々な研修を重ね、指導者として資質を高め工夫して教育環境を提供している。子どもたちが主体的に活動できる教育環境を提供するのが理想である。今後、いろいろな実態に即して予算も見据えながら、工夫して育児環境、教育環境を提供していきたい。

答 町長
教育に対しては投資を惜しまない考え方であります。

問 海部道路についての進み具合の想定は。

答 町長
今後約2年程度で事業化されるのではないかと。10年後は大幅に事業が進捗していると思う。期待しつづ待つのではなく、今後10年で事業効果十分発揮できるような施策等、必要な手を打ちたい。

問 防災について、特に津波は万全の体制でその時に備えたいが、町長にとって理想の万全の体制とは何か。過疎化等で海陽町と似た、東日本大震

災の被災地の復興モデルを、今から学んでおくべきだと考えるが。

答 町長
緊急避難場所や備蓄倉庫等の整備を初め、「自分の命は自分で守る」を基本とした住民意識の要請を図っている。防災・減災対策事業にこれで終了という終着点はない。これから必要な事業は継続して実施していく。被災後はできるだけ早く復興しなければいけない。来年から穴喰地域を中心に、地籍調査を大幅に拡大していきたい。

問 10年後は産業はどのように活性化しているのか。牽引分野は何か。明るい未来のイメージがあるのか。

答 町長
町の産業の割合が農林水産業8・6%、製造業12・9%、建設業7・8%、

卸小売業12・5%、サービス業が11%となる。今後、新たな就業機会の創出は緊急の課題である。国では地方創生担当大臣が新たに設けられ、地方の人口減少や活性化に向けて各種施策等が創設されてくる。その新しい施策に積極的に取り組んでいきたい。みらい会議等により意見が交わされ、10年後どのような産業でも若者が中心となり、積極的に取り組むことが理想である。



いつまでもお元気で（敬老のつどい 平成26年9月15日 海南文化館）

一般質問

防災対策の見直しを!!



原 ひろみ 議員

〈防災課長〉

早めの避難と注意喚起を図り対応策を再検討する

甚大な被害を及ぼした台風12号・11号を振り返り検証し、再び大きな災害を回避できるよう、今後の防災対策を見直すべきである。

問 防災情報の伝え方の再検討を。

①避難勧告発令時、具体的に危険性が早く十分に伝わるよう伝達できないのか。

②停電時や防災無線が使えない時、豪雨で防災無線の音声がかえらない時など情報伝達をどうするのか。

③停電時、地区の範囲や復旧の見込みの放送で不安の解消を。

答 谷岡防災課長

①土砂災害警戒情報は旧町単位で発表されるため、地域を限定して住民にお知らせするのは困難であるが、住民自身も自分の安全を確保していただけるよう啓発を行うとともに、早めの避難を促す注意喚起を引き続き図っていく。

②屋内の個別受信機、屋外の防災行政無線スピーカー以外に、携帯電話のエリアメールを利用して避難勧告等情報を発信しているが、住民に早めの避難を周知するとともに対応策を検討する。

③電力会社には、住民からの苦情や問い合わせなど会社自身が対応すべきであり、今後の対策としてコールセンターの開設や電話回線の増設などを強く要望している。また、役場に問い合わせがあった時には、正確な情報をお伝えできるよう、復旧箇所や見通しなど定期的に報告いただくよう合わせて要望している。

問 早期に増水の危険性を知るため、水位観測所を増設する必要があるが、町はあと何カ所増設すべきとかがえているのか。

答 前田町長

現在、雨量計は8カ所、水位計は5カ所あるが、情報を得るためには十分である。雨量計、水位計とも、あと4カ所増設できれば、避難準備や勧告の判断にも有効に活用できる。設置の要望を続けていきたい。

避難所の再検討を

〈防災課長〉

住民の意見を参考にする

問 ①38カ所の避難所の利用状況は。

②使えたのは何カ所か。

③垂直避難のできない家の住人や要援護者への避難要請の取り組みは。

④避難所での備蓄食糧・毛布・テレビ・電話等の設置はできているのか。

⑤住民が利用しやしない避難所を再検討できないのか。

答 防災課長

①町指定の避難所では11カ所の利用であった。
②38カ所の指定避難所のうち浸水した避難所は3カ所であり、浸水被害に関してはそれ以外の避難所については利用可能であったと考えている。
③要援護者の避難については移動に時間を要することから、早めの避難を促す注意喚起の放送を繰り返しているが、引き続き社会福祉協議会や消防団等とも情報の共有を図りながら対応を図っていく。
④食料は、長期の避難が予想される地震・津波を想定し学校や庁舎等に水・ビスケット等備蓄しているが、台風等で避難までに時間的余裕がある場合は持参していただくようお願いしている。毛布、テレビについては課題もあり検討する。電話については、IP電話と災害時優先電話を設置しているので利用可能である。



国道55号通行止め (四方原)

⑤今回の災害の状況受け、住民のご意見も参考に再検討を行う。

問 多くの河川で氾濫があった。海部川や支流で砂利が溜まり、河床が上昇している。砂利採取を早急に県に要望し、残土処分場の獲得にも力を入れてほしい。

答 町長

浸水対策として砂利採取、宍喰川・海部川への排水ポンプの増設を強く要望していきたい。

問 山腹崩壊を防ぐため、道路脇に生い茂る樹木を早期に伐採し、危険木の定期的な点検を削除してはどうか。

答 東谷建設課長

道路通行上危険な樹木は各道路管理者がその都度除去しているが、個人所有山林の樹木を定期的点検し除去することは困難である。

百年計画で治水事業を森林整備や広葉樹への転換、温暖化防止へ力を入れ、より未然に防ぐ対策が必要である。今回の教訓を活かし、根本的解決に向け取り組んでほしい。

般

質

問

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生との2常任委員会を設置しています。

本会議から付託された議案を9月8日、9日、10日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務産業建設常任委員会

補 正予算全額が台風災害関連

委員長 戸田 眞理子

9月8日開会。午後は町長が県の会議出張のため休会とした。

所管議案は11議案であり、その内容説明について抜粋して報告する。

平成25年度決算の状況について、その後企業会計・水道事業についても説明を受けたが、財政健全化への改善効果が伺えるためか、委員からは格段の意見はなかった。26年度一般会計補正予算、歳入歳出予算に1億541万円を追加するもので、全額がこの度の台風災害関連の事業費。

浅川橋上部補強工事変更請負契約の773万円の増額は、鋼製地覆等の



台風被害巡視 (遊遊 NASA)

形状変更と、取り合い道路部分の段差等改善のための舗装工事費。

9月9日再開。最初に1日の台風被災現場7カ所に続いて、6カ所の巡視を行った。

続いて補正予算の説明を受けた。歳入歳出予算に7億1312万円を追加し、75億246万円とするもの。その補正額のうち、4

億8359万円が台風災害復旧関連の事業費となっていた。

補正残額のうち、農業

費の新規事業として①多目的機能支援事業費140万円。農村地域への活動費や営農継続のための支援費とのこと。

②農地中間管理事業費177万円。農地集積の耕作放棄地対策事業費であるとのこと。

林業費では寄付金の100万円、海部材の木製ベンチを購入して設置。

水産業費の50万円は、浅川漁協の藻場改善実証実験費。

土工費ではサテライトオフィス誘致事業に105万円。久尾・船津寒茶PRイベントの100万円。観光施設の修繕やシロアリ駆除、公共下水道の繋ぎ込み等で、合わせて918万円。土木費では、まぜのおか倉庫新設事業費の371万円。消防費

755万円は、海南地区水防倉庫を文化村に設置するための事業費。公債費の1億5198万円は、地方債の繰上償還金等であった。委員か

らは、防災対策や第一次産業に対する取り組みについての意見が出され、町長から前向きに取り組んでいくとの答弁があった。

文教厚生常任委員会

海 南病院経営状態に厳しい質問

委員長 三浦 茂貴

9月10日開会。

決算の認定について平成25年度の国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計決算の説明があった。国保の基金が底をついていくとのことである。

海南病院決算は、経費を1000円使って600円儲けているような状態で、町からの繰入金3億1000万円であり、経営状態に関して多くの厳しい質問が飛んだ。町長より、「海南病院の再建について副町長をトップとする委員会を作るよう指示している」との答えがあった。

専決予算の一般会計補正予算は台風11号、12号関連の予算である。

ことである。衛生費348万円の主なものは、家電等リサイクル料115万円、災害ゴミの処理に係るリサイクル料と運搬手数料である。教育費1285万円の主なものは、海陽中学校グラウンドの防球ネット設置に650万円。

文教施設災害復旧費9728万円の主なものは、浸水被害にあった宍喰小学校校舎及び体育館、風害にあった旧海部中学校校舎と義仁荘の工事費である。

続いて国民健康保険特別会計補正予算及び、介護保険特別会計補正予算の説明を受けた。

議案審議は以上で、その他として教育長からの今後の教育方針についての説明があった。

最後に、陳情を1件審査し、意見書を提出した。



浸水被害ゴミ集積場巡視 (宍喰)

全国大会出場おめでとうございます



全国優勝めざしてがんばります。応援よろしくお願いします。

(大会は12月6日・7日横浜スタジアムで開催されます。)

岡川拳大
岡川涼弥
岡川昂大
川縁善輝
杉本真仁
谷崎 颯
谷崎 陽
谷本翔馬
徳山一翔
増田永愛
増田龍生
松吉一心
溝内将人

これまでの戦績

第36回徳島県少年野球連盟選手権大会

海南4 - 3 足代 海南 3 - 1 鴨島
海南4 - 2 岩脇 海南14 - 2 阿波
海南5 - 0 鷺敷 海南10 - 4 新野東

四国クライマックス大会

海南2 - 1 日高 (愛媛県) 海南3 - 0 日章 (高知県)



議長へ戦勝報告

編集後記

今年は、全国的に自然災害の多い夏でした。海陽町にも12号11号と相次ぐ台風の襲来があり、台風の被害を受けた皆様に、心からお見舞い申し上げます。また被災された方々の一日も早い復興をお祈りします。

今回の議会だよりでの災害復旧費は、9月議会で決まった予算分だけ載せていますが、町全体での災害復旧費は、まだ増えていっています。本当に大きな自然災害が起きない、安心安全な生活というのは大切だと感じます。

当委員会では、皆様に手に取って読んでもらい、わかり易い紙面を目指しています。皆様からのご意見を、気軽にお寄せいただければ幸いです。

(長尾)

議会広報編集
特別委員会
議会事務局
TEL
734164
(直通)

